

# 歴代4市長対談

蒲郡市の市制施行70周年を記念し、歴代4市長が対談を行いました。それぞれの市長から見た蒲郡の課題や未来についての意見をうかがいました。

秘書広報課 ☎ 66-1161

ID 20240420

## 蒲郡市の魅力と課題

○鈴木寿明 市長

まず、蒲郡市の魅力と課題について伺いたいと思います。

○鈴木克昌 元市長

そうですね、蒲郡の魅力は、海あり・山あり・温泉ありということだと思います。やっぱり三河湾という海が財産だと思しますので、これを活かしていかなきゃいけない。

例えば、三谷町にある水産試験場は日本が誇る施設ですし、他市にはない特色ある施設を活かしていく。やっぱり蒲郡は繊維のまちだったわけで、繊維試験場も活かして、繊維のまち復活を期待したいですね。

○金原久雄 元市長

元気なニテックや竹本油脂、そしてロープの会社もあり、みかんでは全国ブランドの温室みかんもある。工作機

械、鉄工メーカーさんも元気な人がたくさんいらっしゃる。これから電気自動車に変わっていく中でどう方向転換していくかが課題になるのではないのでしょうか。

○稲葉正吉 前市長

私は、いかに道路をつくるかがまちの発展に繋がっていくと信じています。近く全線開通する名豊道路。国道1号線、その奥に東名高速道路、また奥には第二東名という、太平洋ベルト地帯を結ぶ大きな4本の道路が一番狭まる場所がこの蒲郡なんです。さらに蒲郡の特色、蒲郡港があります。港と道路をどう結合させるのか。

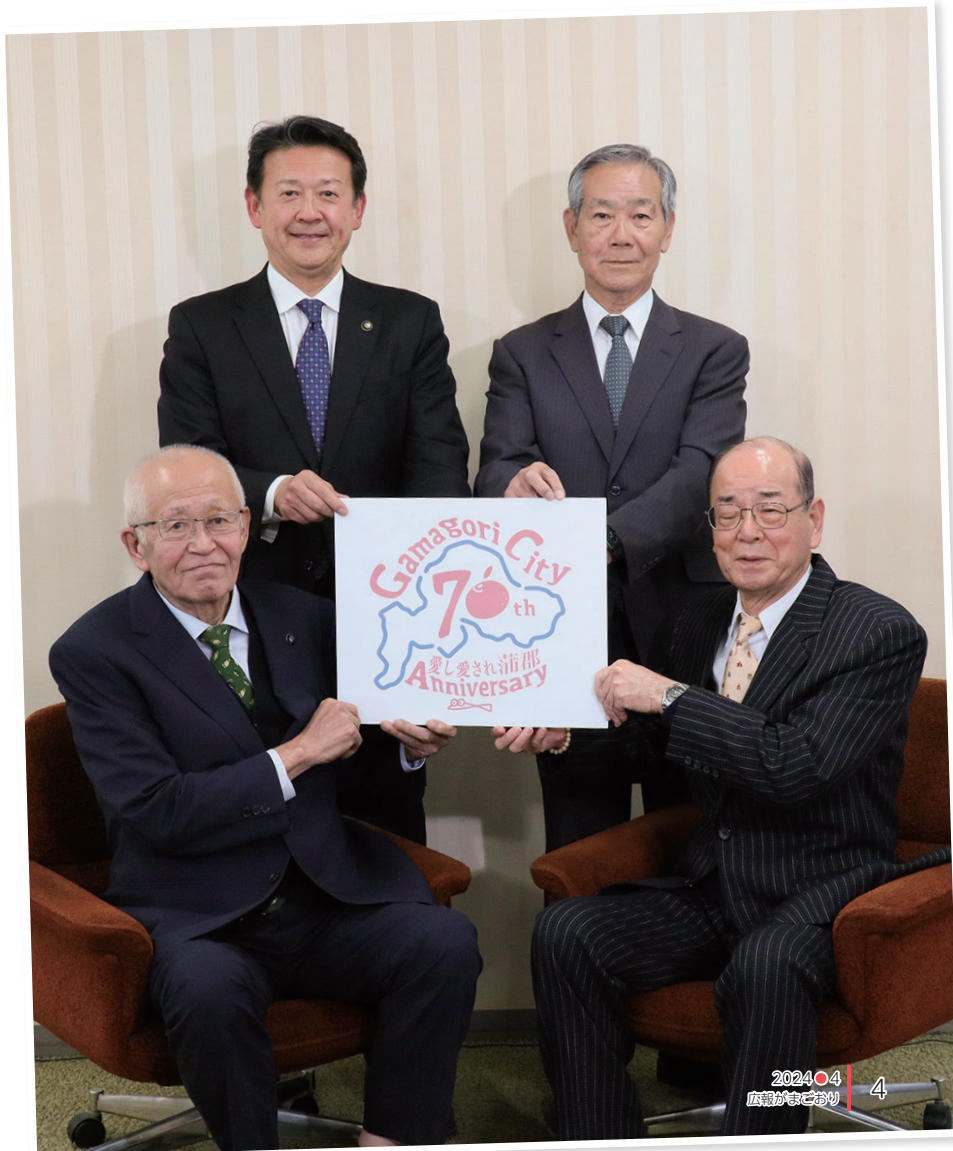
加えてJR蒲郡駅は東京や大阪から2時間に到達できます。これらを総合的にいかに活用していくか、利用が進んでいくかが課題じゃないでしょうか。

○鈴木寿明 市長

ありがとうございます。私は蒲郡の魅力は、自然の豊かさをもたせることなが

ら、住んでいる人の優しさだと思えます。人懐っこいといいますが、お節介といわれるかもしれませんが、人の結びつきが強いのがこの蒲郡の強み、魅力じゃないかなと思います。

課題としては、防災上の備えがまだまだ弱いと認識しております。元日の能登半島地震を見て、私たちに突きつけられる課題を感じたところです。耐震強化や家具固定など、自助、共助も



第8代市長 鈴木 寿明  
令和元年～